



2021年3月19日

各位

会社名 ワイエイシイホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 百瀬 武文  
 (コード番号 6298 東証第一部)  
 問合せ先 取締役事業統括副本部長 伊藤 利彦  
 (TEL. 042-546-1161)

中期経営計画 (2021~2023 年度) について

本日開催の当社取締役会において、中期経営計画 (2021~2023 年度) を策定、公表することを決議しましたのでお知らせいたします。

当社は 1973 年 5 月に現社長が創業し、来る 2023 年 5 月に創業 50 周年を迎えますが、ここを当面のゴールとして、本中期経営計画を策定したものであります。

記

1. 基本戦略

(1) 基本テーマ

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| ①粗利率 UP による高収益経営 | 最終年度には、営業利益率 10%以上      |
| ②経営効率重視経営        | 最終年度には、一人当たり売上 35 百万円以上 |
| ③SDGs を加味した量産新製品 | 最終年度には、売上の 20%以上        |

(2) 改革テーマ

①営業改革 (受注型営業の深耕と提案型営業の推進)

「しなやか先端技術企業集団」として、お取引先様の様々なニーズを具現化しつつ、生活への安心と豊かさを与える商品開発を推進いたします。

②グループ内効率経営

グループ内企業、事業及びシステムの統廃合により、高い効率経営を目指します。

③中国ビジネスモデル改善

最大のマーケットである中国との取引への柔軟な対応のため、各社各様の対応を効率性と安全性の観点から改善致します。

2. 数値目標 (連結)

(金額単位：百万円)

事業年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
売上 (連結)	30,000	33,000	37,000	
セグメント別	メカトロニクス関連事業	13,470	14,290	16,000
	ディスプレイ関連事業	5,690	7,120	8,000
	産業機器関連事業	3,720	4,020	4,500
	電子機器関連事業	7,120	7,570	8,500
営業利益 (連結)	1,600	2,310	3,700	
	営業利益率	5.3%	7.0%	10.0%

(※) 2021 年度の詳細数値は、「2021 年 3 月期決算短信」にて開示予定

### 3. セグメント別現況と課題及び施策

#### (1) メカトロニクス関連事業

##### ①現況と課題

クラウド関連、EV、デジタルシフトの進展で、当関連事業がフォローしている市場は大きな拡大が見込まれます。独占的に販売しているクラウド関連 HDD 向け装置の需要増対応、パワー半導体・電子部品（レーザアニーラ・キャリアテープ・自動化装置・切断装置等）の迅速な横展開、コロナ関連商材の販売促進等が課題となります。

##### ②施策

- ・HDD のプロセス装置の次世代対応開発、並びに IoT、AI 搭載による付加価値開発。
- ・パワー半導体市場への深耕、5G、センサー市場向けの装置、及び用途開発。
- ・開発中の医療関連ウエットプロセス装置、協働ロボット応用自動化装置等のタイムリーな市場投入。
- ・また、国内外各拠点の連携による製品の競争力強化と安定供給を図ってまいります。

#### (2) ディスプレイ関連事業

##### ①現況と課題

フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、大型 TV 用液晶ディスプレイ (LCD) 投資が一段落し、有機 EL ディスプレイ (OLED) 投資は大型基板の量産開発への取組みが見られるものの、現在は調整局面にあります。当関連事業におきましては、自社の強みを活かせる分野への特化（前事業年度における WET 事業からの撤退等）と拡大（熱処理装置の応用拡大）によりこの局面を乗り越え、引き続き体質強化を図ることが課題となります。

##### ②施策

技術とコストの両面からブラッシュアップしシェアアップさせるとともに、メンテナンス、サービスの積極的な展開（提案型営業）により、ベース事業に育成してまいります。

一方、飛躍的拡大のため、当社のコア技術と他社技術とのコラボレーションによる商品開発の促進と、FPD 業界以外の市場への投入を進めてまいります。

#### (3) 産業機器関連事業

##### ①現況と課題

ホームクリーニング市場はコロナ禍において急激に縮みましたが、関連業界であるリネンサプライ、特に医療リネンサプライについては、需要は大幅に増加しております。

また、クリーニング仕上げのコア技術たるフィルム包装は、脱炭素や脱プラスチックの潮流からエコ仕様のフィルムや紙類が多く取り扱われるようになる EC 物流業界において、新たな市場を生み出すものと予想しております。両マーケットへの参入を加速的に促進することが課題となります。

##### ②施策

医療リネンサプライにおいては、昨年来開発している入荷チェック時の検査機能の自動化と高精度化により、「安全と安心」を提供いたします。

また EC 物流については、当社のコア技術の応用により、脱炭素や脱プラスチックの一翼となるべく社会に貢献してまいります。

#### (4) 電子機器関連事業

##### ①現況

人工透析装置は、世界的な糖尿病由来の需要増により拡大の一途を辿ると想定しております。コロナ禍により、旧機種の減産調整、また新機種の市場投入に悪影響がありましたが、旧機種の販売は今年度第 3 四半期後半から回復し、新機種につきましても来年度秋頃の投入に目途が立ちつつあります。新規採用国での認証を着実に受けることと、次の商材の確保が課題です。

一方、電力の制御通信機関連は引き続き需要が旺盛ではありますが、急拡大するものではありません。従って、この分野における課題は、今後拡大が見込まれる再生可能エ

エネルギーへの参入が更なる伸張のキーワードとなります。

②施策

医療分野につきましては、既存の人工透析装置の品質向上とコストダウンが最重要であり、一方で当社の技術を生かした新製品開発に取り組んで参ります。

また、電力市場については、洋上風力中心に再生エネルギー向け機器の開発を行うとともに、保守の自動化につながる通信装置の開発にも注力してまいります。

以 上

本資料に記載されている内容は、将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。